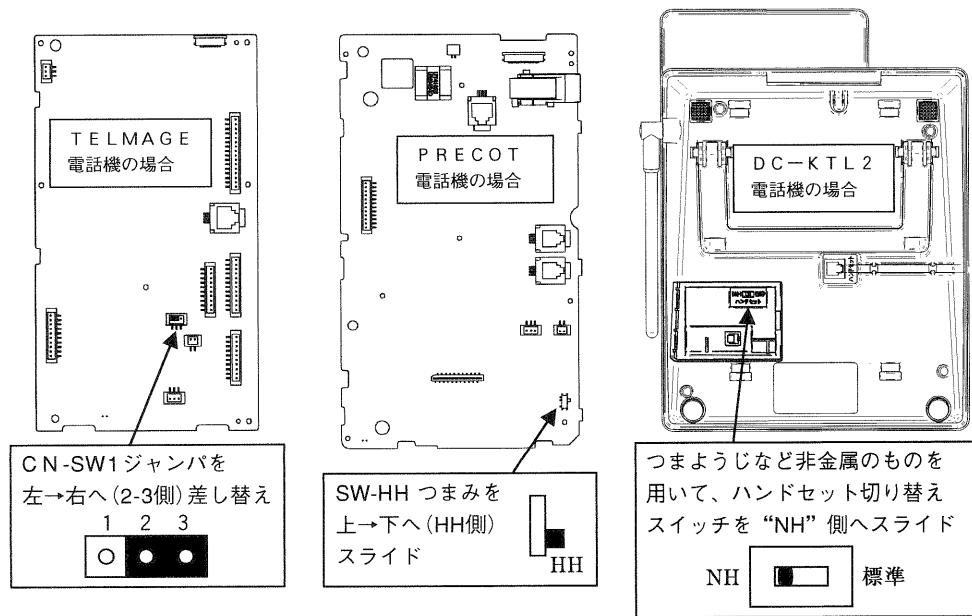


TELMAGE電話機およびPRECOT電話機の場合は、電話機の筐体のネジをはずしてあげ、回路基板上のスイッチを下図のように設定します。その後筐体を組み立て、ネジを締めます。回路基板は静電気に注意してください。

DC-KTL 2 電話機の場合は、裏面の電池カバーを取りはずし、電池パック下のスイッチを下図のように設定します。その際、電池パックのコネクタがはずれないように注意してください。その後電池カバーを取り付けます。

既に接続されている標準ハンドセットをカールコードからはずし、NHH Dハンドセットを差し替えます。電話器の設定をした後は、標準ハンドセットのままにして絶対に使用しないでください。受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

その他、工事の注意事項はシステムと同じです。



上記電話機の設定とハンドセットの差し替えを行った電話機の該当する端末加入者データ設定を以下のように設定します。

TELMAGE：受話音量モード(分類10-項目15)の設定を、“3”(受話音量レベル大)に設定してください。

PRECOT：受話音量モード(分類10-項目15)の設定を、“3”(受話音量レベル大)に設定してください。

DC-KTL 2：ボリューム最大でお使い下さい。



NHH Dハンドセット

受話音量増幅 騒音防止送話器

取扱説明書 工事説明書

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みの上、正しくお使いください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事および修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本商品の保証および修理につきましては本体システムによります。ご用の際はお買い求めの販売店等へお申し付けください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申し付けください。

警告

- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください（分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります）。
- 近くに雷が発生したときは、すぐにハンドセットを電話機に置いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

注意

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所、振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を壁掛け用に取り付ける場合は、重みにより落下しないように堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を熱器具に近づけないでください。ケースやコードが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電話器の設定をした後は、本商品に差し替えないで標準ハンドセットのままにして絶対に使用しないでください。受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

お願い

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
 - ・製氷倉庫などの特に温度が下がる場所
 - ・塵、ほこり、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- トラックや自動車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。
- 本商品は指定以外の電話機、停電電話機、IP電話機、単独電話機には接続できません。
- 本商品はハウリングする（受話器からピーという音が連続する）場合がありますので、耳に十分当ててお使いいただくか、受話音量を下げてお使いください。
- 通話が終わってハンドセットを戻す時は、スイッチが押し込まれた状態にして受話音量を標準状態にしてください。後から通話をする人が、突然大きな音で驚かないようにしてください。スイッチが出ている状態のままでも問題ありませんが、なるべく押し込まれた状態にして受話音量を標準状態にしてください。
- 電話機側の受話音量が大になっていないと（ソフト設定忘れ、またはソフト設定で最大に設定済でも電話機側の受話音量操作をした場合）ハンドセットの受話音量が十分に大きくなりません。
- 電話機側の説明書を十分にお読みいただき、受話音や送話音声の動作をご理解の上お使いください。

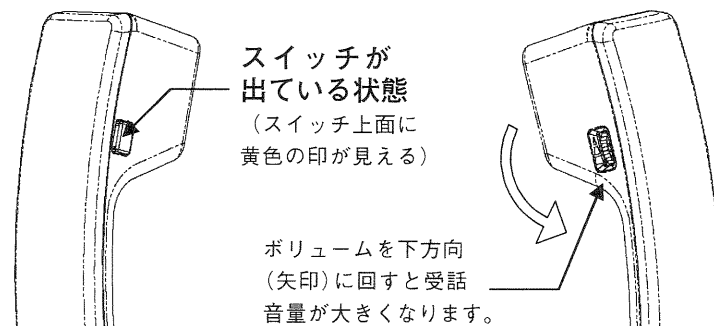
ハンドセットの使い方 受話音量増幅

お客様用

電話機側の受話音量は大の状態でお使いください（標準モードおよび増幅モードともに）。電話機側の受話音量が大になっていないと（ソフト設定忘れ、またはソフト設定で最大に設定済でも電話機側の受話音量操作をした場合）ハンドセットの受話音量が十分に大きくなりません。

増幅モード

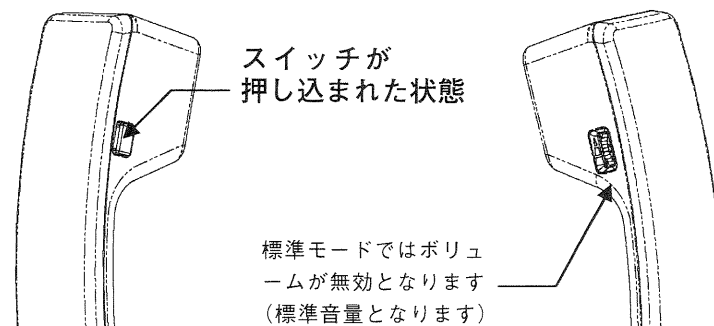
ハンドセットのボリュームが有効となります。ボリュームを回すことで、受話音量を変えることができます。



・通話が終わってハンドセットを戻す時はスイッチが押し込まれた状態（標準モード）にしてください。後から通話をする人が、突然大きな音で驚かないようにしてください。ただし、常時増幅モードでお使いの場合は、そのままでも構いません。

標準モード

ハンドセットのボリュームが無効となります。ボリュームの回転位置に関わらず、標準音量となります。



ハンドセットの使い方 騒音防止送話器

お客様用

送話器は口元に十分近づけてお話しください。口元から少しでも遠ざけますと騒音防止機能が効いて**送話の音声小さくなり**相手のかたが聞きづらくなります。

主な仕様 (環境条件などはシステムの仕様によります)

接続できる電話機	TELMAGE : IX-24KTDXE (WHT) PRECOT : NR-18KT (WHT)、NR-30KT (WHT) 共通 : DC-KTL2
送話	騒音防止性能 : 1 kHzにおいて、騒音除去量 5 dB以上*
受話	受話音量増幅性能 : 300~3400 Hzにおいて、通常の電話機の標準受話音量にくらべて2~17 dBの範囲で無段階に増幅*

*当社比較